

平成 23 年 1 月 26 日

各 位

岩手大学農学部獣医学課程
助教選考委員会
委員長 安田 準

獣医学課程(臨床獣医学)助教候補者の公募について

謹啓

厳寒の候 貴殿におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、本学農学部では獣医学課程(臨床獣医学領域 小動物内科学分野)助教候補者を下記により公募することになりました。

つきましては、貴機関内に適当な候補者がおられましたなら、応募くださるよう周知方ご高配を賜りたくお願い申し上げます。なお、貴機関以外の方でも適当と思われる方がおられましたならば、ご推挙いただければ幸甚に存じます。

敬白

記

1. 募集する教員の職名および人数

獣医学課程(臨床獣医学領域 小動物内科学 I 分野)助教 1名

2. 臨床獣医学領域の概要および職務の内容

獣医学課程における臨床獣医学領域は、小動物内科学 I (内科診断学)、小動物内科学 II (病態内科学)、小動物外科学 I、小動物外科学 II、獣医臨床繁殖学、生産獣医療学、大動物診断治療学の各分野から成り、小動物内科学 I および II はそれぞれ教授 1 名、助教 1 名で構成されています。今回の公募は小動物内科学 I の助教を充足するためのものです。

当該分野の主たる担当科目は小動物内科学・同実習、臨床検査学および総合臨床実習です。さらに日常、本学動物病院における小動物内科診療を担当しています。

3. 選考方針

今回の公募にあたっては、次の諸項を満たす人物が望まれます。

- 1) 博士の学位(取得見込みも含む)と獣医師の資格を有する方。
- 2) 小動物内科学に関する知識と研究能力を備え、学生の教育と研究指導を行える方。
- 3) 本学附属動物病院において積極的に小動物内科診療を行える方。

4. 提出書類

- 1) 履歴書 1部(写真貼付、署名、捺印のあるもの)
- 2) 研究業績目録 1部(別紙参照下さい)
- 3) 主要論文別刷 5編以内
- 4) 教育研究および診療に対する抱負 1部(1,000字程度)
- 5) 推薦される場合は推薦状

5. 提出期限

平成23年2月18日(金)必着

6. 提出先(問い合わせ先)

〒020-8550

盛岡市上田三丁目18-8

岩手大学農学部獣医学課程

助教選考委員会

委員長 安田 準

Tel: 019-621-6235

Fax: 019-621-6235

E-mail: jyasuda@iwate-u.ac.jp

7. その他

業績および資格に係わる評価が同等である場合には、男女共同参画社会基本法の趣旨に則り、女性を優先的に採用します。

以上

「研究業績」の作成について（2007. 4）

農学部教員人事委員会

研究業績は、A4判の用紙に A. 著書・訳書、B. 学位論文、C. 総説・論説、D. 原著論文 (a) 学術雑誌*¹、(b) 紀要*²、(c) プロシーディングス、E. その他*³、F. 報告書・事業報告書等*⁴、G. 特許・設計等、H. 国際学会発表*⁵、I. 国内学会発表*⁵の順に、下記の例を参考にして作成してください。例えば総説・論説がない場合は、C. 原著論文のように繰り上げてください。マージンは左右上下約3cmに設定し、1行35～40字で40行程度（日本語の場合フォントのサイズは10.5～12程度）にしてください。

- *1：学会誌、国際誌等を年代順に記載する。
- *2：試験場報告、研究所報告等を含む。
- *3：商業雑誌、資料等を記載する。
- *4：調査報告書、科学研究費報告書、事業報告書等を記載する。
- *5：最近5ヵ年について記載する。（教授選考の場合、I. 国内学会発表は不要）
- *6：著者名にアンダーラインを付け、コレスポンディングオーサーあるいは筆頭著者とイコールコントリビューションの場合は二重のアンダーラインを付ける。ただし論文にその記載がある場合に限る。
- *7：英文で著者名を記載する場合は、下記のようにする。
1. Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. (1986)
- *8：学名にはアンダーラインをつけるか、またはイタリックで記載する。
- *9：論文番号は全角、英数字は半角にする。また、巻数はボールド（太字）とする。
- *10：Journal は略記する。
- *11：発行又は発表予定として記載可能なのは in press か accepted のみとする。

〈記載例〉

研 究 業 績 (著書・学術論文等)

A. 著書・訳書

1. 岩手一郎 (単著) (1990)
農学について. ○○出版社, 東京, 100p.
2. 岩手一郎 (分担執筆) (1991)
北上山地における畜産業, 「岩手の農業」(大学太郎, 学部一郎編), △△堂, 盛岡, pp. 10-20.
3. 岩手一郎 (分担翻訳) (1992)
トウモロコシ, 「アメリカの農業」(A. B. Carter 著, 大学太郎監訳), ◇◇社, 東京, pp. 20-30.
4. Iwate, I. and Morioka, J. (分担執筆) (1993)
Agriculture in Japan, “Agricultural Sciences” (Eds.: D. E. F. Green and H. I. James), Bio Press, London, pp. 20-30.

B. 学位論文

1. 岩手一郎 (1980)
XYZに関する研究. [◇◇学修士または修士 (◇◇学) ○○大学]
2. 岩手一郎 (1983)
ABCに関する研究. [◇◇学博士または博士 (◇◇学) ○○大学]

C. 総説・論説

1. 岩手一郎 (1994)

岩手における野生動物の分布. 岩手の自然 No.3 : 1-5.

2. 岩手一郎, 盛岡次郎 (1995)
岩手山の植物分布. 岩手植物誌 15 : 215-220.

D. 原著論文

(a) 学術雑誌

1. 岩手一郎 (1985)
岩手の野生動物に関する研究. 日動学誌 5 : 15-20.
2. Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. (1986)
Distribution of wild animals in Iwate Prefecture. Jpn. J. Anim. Sci. 20 : 100-105.
3. Iwate, I. (1990)
Calcium metabolism in laying Japanese quail (*Coturnix coturnix japonica*). Jpn. Avian Physiol. 25 : 15-20.

(b) 紀要

1. 岩手一郎 (1985)
トウホクヤマネズミの生態について. 岩手大農報 17 : 30-40.

(c) プロシーディングス

1. Iwate, I., Morioka, J. and Akita, N. (1995)
Mode of life of Japanese macaques in northern Japan. Proc. 5th Int. Cong. of Wild Animals, Berlin, pp.101-102.

E. その他

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1990)
北上山系におけるニホンカモシカの生態調査. 野生動物 No.125 : pp. 35-45.

F. 報告書・事業報告書等

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1993)
イヌワシのPCB汚染. 自然動物調査報告 (△△県), pp.10-11.

G. 特許・設計等

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1993)
イヌワシ捕獲装置 特許第 1234567 号

H. 国際学会発表 (最近5か年)

1. Morioka, J. and Iwate, I. (1996)
Ecological study of wild animals in Japan. 5th Int. Anim. Ecol., New York.

I. 国内学会発表 (最近5か年)

1. 岩手一郎, 盛岡次郎 (1997)
岩手の野生動物. 第100回日本野生動物学会講演要旨 : 25-26.